

女性医師支援・ドクターバンク連携 近畿ブロック会議

滋賀県医師会



医師バンク取り組み・報告

➤ 滋賀県の実施する復職・再研修支援体制に関する補助金

- 1) 復職支援等研修事業（補助金）
 - ※令和2年度利用実績：1病院
 - ※令和3年度利用実績：1病院
 - ※令和4年度利用実績：1病院
 - ※令和5年度利用実績：1病院・1診療所
 - ※令和6年度利用実績：1病院・1診療所

2) 病院勤務環境改善支援事業（補助金） ※令和 2 年度利用実績：9 病院
※令和 3 年度利用実績：8 病院
※令和 4 年度利用実績：10 病院
※令和 5 年度利用実績：14 病院
※令和 6 年度利用実績：18 病院

3) 病院内保育所事業運営事業（補助金） ※令和 2 年度利用実績 25 病院
※令和 3 年度利用実績 28 病院
※令和 4 年度利用実績 28 病院
※令和 5 年度利用実績 29 病院
※令和 6 年度利用実績 28 病院

ドクターバンク 実績

平成29年度

問い合わせ 4名

1名	消化器内科	男性
2名	一般内科	男性
1名	小児科	女性

マッチング 2名

1名	消化器内科	28年度からの継続で配偶者(医師)と同病院
1名	一般内科	

平成30年度

問い合わせ 6名

1名	総合診療 (産婦人科医)	男性
1名	総合診療	男性
2名	一般内科	男性
1名	麻酔科	男性
1名	小児科	男性

マッチング 2名

2名	一般内科	・ 1名は29年度からの継続 ・ 1名は30年度の問い合わせ
----	------	-----------------------------------

令和元年度

問い合わせ 2名

1名	整形外科	男性
1名	耳鼻咽喉科	女性

マッチング 0名

--	--	--



令和 2 年度					
問い合わせ 1名			マッチング 1名		
1名	一般内科	男性	1名	一般内科	
令和 3 年度					
問い合わせ 1名			マッチング 0名		
1名	精神科	女性			
令和 4 年度					
問い合わせ 6名			マッチング 0名		
1名	皮膚科	男性			
3名	整形外科	男性			
2名	内科	男性			
令和 5 年度					
問い合わせ 3名			マッチング 1名		
1名	皮膚科	男性	1名	リウマチ内科	
1名	内科	男性			
1名	不明	女性			

令和6年度		
問い合わせ 9名		
1名	皮膚科	男性
2名	内科	男性
1名	放射線診断科	男性
1名	総合診療科	男性
1名	泌尿器科	女性
1名	産業医	男性
1名	精神科	男性
1名	検診医	男性
マッチング 2名		
1名	その他	介護老人保健施設
1名	精神科	

令和7年度（令和7年9月26日時点）		
問い合わせ 6名		
1名	皮膚科	男性
1名	検診医	男性
2名	内科	男性
1名	産業医	男性
1名	外科	男性
マッチング 1名		
1名	検診医	



コーディネーターの業務内容

- 滋賀県参与（医師・週3日勤務）が業務の一部としてドクターバンク事業を担当。主な業務内容は以下のとおり。（ドクターバンク事業の専従職員ではなく、コーディネーターとまでは言い切れません。）
 - ・ 求職者からの相談対応（電話またはメールにて希望条件を聴取。）
 - ・ 面談の調整（求職者と医療機関の間に立ち面談日を調整。必要に応じて面談に同席。）
 - ・ 事業承継を希望する診療所の相談対応（現在はエージェントの紹介まで。今後はキャリアサポートセンターHP内に事業承継に関する記事を新設し、承継希望者との初回面談の設定までフォローする仕組みを構築する予定。）

求人情報（公開案件）はキャリアサポートセンターHPに常時掲載しており、四半期に一度のペースで県内病院に対し求人情報の更新の有無をメールにて確認しています。診療所についても、求人情報掲載の希望を受けた場合は対応します。

また、求職者が希望する場合は、県内病院あてに求職者の情報をメール送信し、面談希望の病院を募ります。

最近の話題、課題

- 事業継承問題、Mand A 等にて、閉院に追い込まれた医院
 - 若手（研修医）は意外と産業医の資格を取ろうとしている
 - 産業医の需要と供給の調整
 - 女性医師のライフイベント時の交代要員
-
- ドクターバンクの周知
 - 産業医の講習会との関連
 - 働き方改革との調整



県医師会における女性医師支援の取組

- 1) 働きやすい柔軟な勤務形態（時短、在宅、当直免除）など
職場環境の整備
女性医師の多い眼科等では以前より常勤枠を子育て中のふたりの医師でシェアして勤務しているなどの報告あり。
- 2) 意識改革とロールモデルの育成（女性医師の活躍の可視化管理職登用）
滋賀医大の学祭でのシンポジウムでのシンポジストに各方面で活躍の先生（女性だけでなく男性医師も）を招集。
- 3) 制度（産休・育休・託児施設など）と運用の両立支援
各病院での産休育休については、特に支援はしていません。
託児施設として、栗東市の病児保育を行っている

女性管理職



- 滋賀県下の病院の女性院長 1 名 副院長 1 6 名
(医師 8 名、看護師 8 名)
- 滋賀県内の郡市区医師会の女性会長 0 名 副会長 2 名
- 滋賀県専門医会の女性会長 1 名 副会長 6 名
- 滋賀医大の女性教授（診療科長） 0 名 准教授 5 名
- 滋賀県医師会では、女性理事 2 名
- 滋賀県内 女性市長 1 名
- 滋賀県知事 今は男性 女性副知事 1 名

男女共同参画の本来は？

- 男性も女性と同じくらい、家事や育児に参画すべき。
- 男性も産休や育休を取得できるようにすべき。（取得すべき）
- わざわざ登庸しようとしなくても、力量で、女性が管理職に選ばれるべき。
- ただし、女性が子育て中だった場合など、ベビーシッターや、病児保育施設など、利用できる環境が整っているべき。
- それらを特別な状況でなく、だれもが、享受でき、周りから、避難されない環境を構築すべき。